

設定の手順

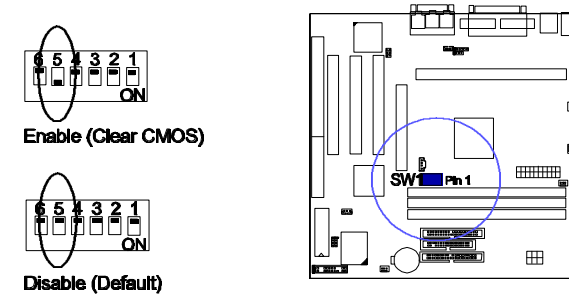
このマザーボードは各ユーザのシステムに適応した設定ができるように、いくつかの変更可能なジャンパー/スイッチがボード上に設置されています。この章ではそれぞれのジャンパーの設定について説明します。以下のステップに従い、コンピュータの組み立て及び設定を進めてください。

- ステップ1
システムジャンパーの設定
- ステップ2
メモリモジュールの装着
- ステップ3
CPUの装着
- ステップ4
拡張カードの装着
- ステップ5
各ケーブル類と電源の接続
- ステップ6
BIOSの設定
- ステップ7
サポートソフトの設定

注意：このマザーボードをケースに設置する際に、電気ドリルを使用する場合は静電気防止リストを着用してください。チップのピンに損傷を与えないために、トルクは 5.0 ~ 8.0 kg/cmを推奨します。

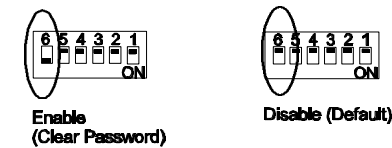
CMOSの解除: SW1-5

CMOS RAMはボード上に搭載されているセルバッテリーにより電源を供給されています。RTCデータを消去するには次の手順にしたがってください。(1) コンピュータの電源を落とします。(2) SW1-5をOnの位置にセットして、この機能を「Enabled」にします。(3) コンピュータに電源を投入します。(4) コンピュータの電源を落とします。(5) Clear CMOS機能を無効にします。(6) コンピュータに電源を投入します。(7) ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupに入り、新しい設定を行ってください。



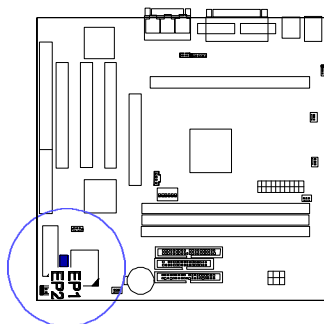
パスワードの解除 SW1-6

このジャンパーで、パスワードの設定を有効または無効にします。パスワードを忘れた場合は次の手順でパスワードを解除できます。(1) コンピュータの電源を落とします。(2) SW1-6をOnの位置にセットしてこの機能を有効にします。(3) コンピュータに電源を投入します。(4) コンピュータの電源を落とします。(5) SW1-6をOffの位置にセットしてこの機能を有効にします。(6) コンピュータに電源を投入します。(7) ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupに入り、新しいパスワードを入力してください。



Flash ROMタイプの選択 EP1, EP2

この2つのジャンパーで、Flash ROMチップのタイプを選択できます。このジャンパー設定は、このボードの製造上のデフォルト値に設定されています。マザーボードに装着されているFlash ROMのタイプを確認する場合は、チップのステッカーをはがして確認してください。



2MB:

MXIC 28F2000TPC



SST 29EE020
ATMEL AT29C020
Winbond W29C020



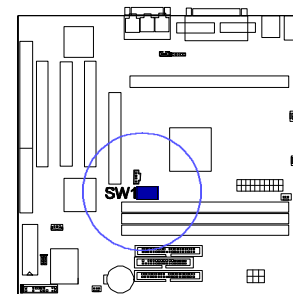
AMD AM29F002NT



CPU内部周波数の設定

SW1-1, SW1-2, SW1-3, SW1-4

これら4つのスイッチはCPUの内部周波数を設定するためのものです。



Ratio	Bus Frequency = 100MHz	Bus Frequency = 66MHz	Switches Settings
3.5 x	350MHz	233MHz	
4 x	400MHz	266MHz	
4.5 x	450MHz	300MHz	
5 x		333MHz	